

MUSEUM
MUSEUM
MUSEUM

シンポジウム

日本の国際展の
いま、未来
| 美術館、地域と
いかにして
共栄しえるか

INTERNATIONAL
ART FESTIVAL

MUSEUM
COMMUNITY
MUSEUM
COMMUNITY
MUSEUM
COMMUNITY

INTERNATIONAL ART
FESTIVALS IN JAPAN,
NOW AND BEYOND
—HOW CAN THEY MUTUALLY
PROSPER WITH MUSEUMS
AND THE COMMUNITY?

INTERNATIONAL
ART FESTIVAL

2015年 10月11日[日]

14:00-17:30 (開場 13:30)

横浜美術館 円形フォーラム

参加無料

主催:横浜美術館(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
共催:横浜トリエンナーレ組織委員会

YOKOHAMA MUSEUM OF ART

PROGRAM プログラム

14:00-14:05 主催者あいさつ

I 事例報告「各地の国際展の現状と課題」

14:05-14:30 「横浜トリエンナーレ」辻坂恵理子

14:30-14:55 「あいちトリエンナーレ」押戸雅彦

14:55-15:20 「国際展への参加～アーティストの立場から」名相晃平

— 休憩20分 —

II パネルディスカッション「日本の国際展は根付くか?」

15:40-17:00 パネルディスカッション

17:00-17:30 質疑応答

シンポジウム

日本の国際展のいま、未来

—美術館、地域と

いかにして共栄しをるか

日本で初めての大型国際美術展「横浜トリエンナーレ」が2001年にスタートして、はや14年が経ちます。2011年の第4回展から本トリエンナーレのメイン会場となった横浜美術館では、2017年の第6回展の開催に向け、「国際展」の課題と可能性を多角的に考察するシンポジウムを継続的に開催いたします。

日本における国際展は、横浜トリエンナーレ以前から実施されている事例がいくつか存在しますが、ここ近年にいたり、新しいプロジェクトが次々と立ち上がり、大小含めれば毎年4、5本の国際展が日本各地で開催される状況となっています。

「飽和」の様相を呈しつつある日本の国際展事情を背景として、それぞれが、地域の人や自然、文化遺産、あるいは美術館といった既存インフラとのかかわりを深めながら、その独自性と存在意義を模索しています。「日本の国際展のいま、未来」と題した今回のシンポジウムでは、国内外の国際展にそれぞれの立場で関わってきた方々を迎え、昨今の日本における国際展をとりくむ状況を整理したうえで、その会場ともなっている既存の「美術館」という制度との関係のあり方、さらには将来的な展望に着目しつつ、その課題を様々な角度から考察します。

2015年10月11日(日)

14:00-17:30 (開場 13:30)

※当日11:00から総合案内にて整理券を配布いたします

会場 横浜美術館 円形フォーラム
定員 100名

参加無料



坪戸雅彦

はいと・まさひこ
あいちトリエンナーレ2016
チーフ・キュレーター



愛知県農林生活部文化芸術課国際芸術祭推進室主任主査。1991年名古屋大学文学研究科博士課程後期美学美術史専攻中退。1992年10月から2008年3月まで愛知県美術館の学芸員として勤務。美術館で開催された現代美術展に関わり、愛知県が「あいちトリエンナーレ」の事業を立ち上げた2008年から現在の国際芸術祭推進室に異動。「あいちトリエンナーレ」の第1回、第2回(2010、2013)にキュレーター、第3回(2016)はチーフ・キュレーターとして関わる。

名和晃平

なわ・こうへい
彫刻家/SANDWICHディレクター/
京都造形芸術大学大学院教授



Notubada OMOTE | SANDWICH

2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程修了。以降、様々な素材とテクノロジーを駆使した作品の発表を重ね、彫刻の可能性を広げ続けている。「釜山ビエンナーレ2010」「第14回アジア・アート・ビエンナーレ・パングラデュク2010」「あいちトリエンナーレ2013」など数多くの国際展に参加する一方、2009年に創設したクリエイティブ・プラットフォーム「SANDWICH」を主宰するなど、幅広い活動を展開中。

逢坂恵理子

おうさか・えりこ
横浜美術館館長



Photo: MATSUKAGE Hiroyuki

国際交流基金・ICA名古屋を経て、1994年から水戸芸術館現代美術センターに勤務、のち同館芸術監督。2007年より森美術館アーティスト・ディレクター、2009年より横浜美術館館長。1999年「第3回アジア・パシフィック・トリエンナーレ」日本部門コーディネーター、2001年「第49回ヴェネチア・ビエンナーレ」日本館コミッショナー、「ヨコハマトリエンナーレ2011」総合ディレクターなど数多くの国際展を手がける。

モデレーター

飯田志保子

いいた・しほこ
キュレーター/
東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授



1998年より東京オペラシティアートギャラリー、グリーンズランド州立美術館、韓国国立現代美術館にキュレーターやリサーチ・フェローとして在籍。美術館やビエンナーレをはじめとする芸術文化制度の内外と社会の関わりに関心をもち、近年は「第15回アジア・アート・ビエンナーレ・パングラデュク2012」、「あいちトリエンナーレ2013」、「札幌国際芸術祭2014」など国際展のキュレーターを歴任。

横浜美術館

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1
電話:045-221-0300 FAX:045-221-0317
<http://yokohama.art.museum>

アクセス

みなとみらい線(東急東横線直通)「みなとみらい駅」3番出口徒歩3分。
JR線、横浜市営地下鉄線「桜木町駅」から「動く歩道」を利用、徒歩10分。
駐車場(10:00-21:00、収容台数169台):
最初の90分は500円、以降30分ごとに250円。

開催中の企画展
森田隆義展: 帰去来 2015年7月11日(土)~10月18日(日)



YOKOHAMA MUSEUM OF ART